

しゃらくかい
写楽同会

令和3年7月31日 67

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com
© 2021 Sharakukai

文月兼題「山」出題：千泉

写真俳句



1 夏山に今沈みゆく陽の赤き

季語：夏の山、夏山（夏）

友人の山の家の夕日はいつ見ても素晴らしいです。



2 夏山の頂き前に山下りる

季語：夏の山、夏山（夏）

甲斐駒ヶ岳の山頂を前に、体調が悪くて下山した
思いが蘇った句です。オリンピックも中止の英断を
すべきではないでしょうか？もし登山を続けていたら
きっと遭難したと思います。



3 眉に汗山頂の見えまた隠れ

季語：汗（夏）

翌日は疲労困憊、筋肉痛で、年齢を思い知らされた
ことでした。



4 豊の秋 感謝をこめてお山へと

季語：豊の秋（秋）

青森県津軽では毎年旧暦の8月1日に、五穀豊穰のお礼と祈願をこめて岩木山に集団登拝する行事、お山参詣が催されます。



5 夏の山すぐやむ雨に大慌て

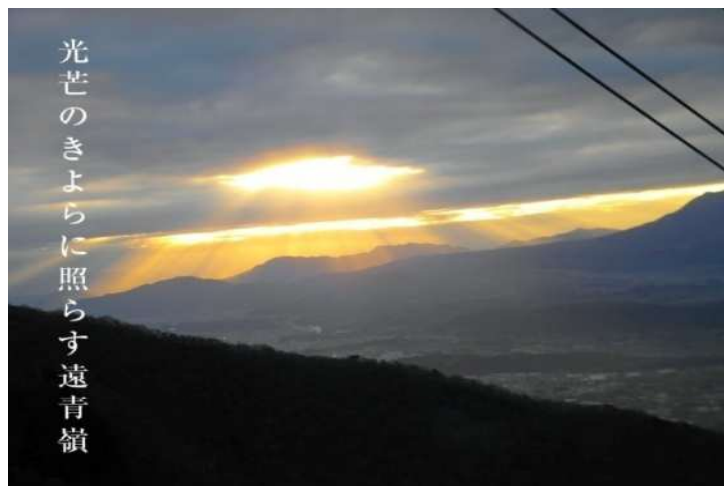
季語：夏の山、夏山（夏）



6 山清水喉潤してギアチェンジ

季語：山清水（夏）
清水（夏）の子季語

登山道に美味しい山清水があり、ここで喉を潤してからひと頑張り。



7 光芒のきよらに照らす遠青嶺（あおね）

季語：青嶺（夏）



8 山はだか塗り絵のごとく色かさね

季語：裸（夏）

幼児の塗り絵のような山でした。米国ネバダ州にて。



9 夏山を映す流れに手を浸す

季語：夏の山、夏山（夏）

暑き日は冷たい川の流れに思わず手を入れてみたくなりますね。

俳句



写真俳句：千泉

歴史見し 火の山やさし夏の色

季語：夏の色（夏）

関門海峡門司港側から見た
下関の「火の山」。
瀬戸内海国立公園の一部に入ってます。

1 見知らぬもあいさつ交わす登山道

季語：登山（夏）

すれ違う人の「こんにちは」の声に疲れも和らいで。

2 ここからが胸突き八丁夏の山

季語：夏の山（夏）

どの山も9合目ぐらいから山頂までが急峻な登りとなっているようです。

3 夜涼みや遠く連なる山暗し

季語：夜涼み（夏）

それほど遠く無い我家から見える山々を詠みました。

4 山見えぬロンドンのビル間初日出ずる

季語：初日（新年）

5 キャンプ張りカレーの匂い山登る

季語：キャンプ（夏）

キャンプで食べるカレーは逸品です。

6 稲妻に白き岩肌武甲山

季語：稲妻（秋）

武甲山は石灰岩で出来た山。セメント会社が何社か入っていて掘削しています。稲妻で白き岩肌が見えました。

7 砂山の砂サンダルを脱いでみる

季語：サンダル（夏）

8 山の木々夕立受けて生き返る

季語：夕立（夏）

9 機窓には山滴りて里帰り

季語：山滴る（夏）

里帰りの機窓からみた日本の山々。美しさに感動しました。

10 雷雲に冷汗かきて尾根歩き

季語：雷雲（夏）

自由俳句

陽閑 二句

雨雫ビロードの葉を転ぶ夏 季語：夏（夏）

葉先に雫が下り光輝いていました。この葉何でしょうか？ご存知の方教えてください。



花蜂の振動音や芥子の花

季語：芥子の花（夏）

短歌

準坊

ちらちらと
行きつ戻りつ窓際を
覗き見るよに
舞う紋白蝶

最近色々な蝶が遊びに来ます。



北切雀 飛ぶがごと泳ぐかのごとふらここの吾子の和毛 (にこげ) の輝き揺るる
箱型の幼児ブランコに座り、高く高く揺らしてもらうのが大好きな孫です。

川柳

準坊 脅せ！干せ！正体見たりデジタル相
また出たよ。まるで品格無き悪代官のごと。

写真投稿

iSAMU



紫陽花



合歓の木

令和3年6月「船・舟」(出題：準坊)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

写真俳句 投票数：28

一席 船頭の自慢の喉や風青し

準坊 (8 票)

季語：風青し (夏)



<< 柳川のお堀巡りで心地良い船頭さんの唄が聞けました。>>

- * 遊覧船の船頭さんは何処でもいい声で歌えますね。
- * 川面を滑る名調子が聞こえてくるようです。
- * 柳川は夏は暑いのですがこの句では涼しげで、いいですね。
- * 風情があって涼やかで、こんな風に川の流れを早く大勢の人たちと供に楽しめるようになってほしいものです。
- * 唄が聞こえてきそうですね。
- * 聴いてみたいです♪二票投票します。
- * 時代劇にも登場しそうな画像と句がよくマッチして風流の極みですね。船頭小唄など聞きたい。



川下り
終えて暑さの中に入り

川下り終えて暑さの中に入り 久芽

季語：暑し（夏）

<< 船で涼を楽しむも降りると夏の暑さが戻ります。>>

- * 冷房の効いた建物から一步外へ出た時の気分。
- * 蝉時雨と涼風の中、典雅な舟遊びです。
- * 優雅な川下りで、いつとき暑さを忘れますね。
- * 水の上から陸へ…無駄な言葉無く 伝わります。
- * 「船」の言葉や写真がなくても兼題にぴったりの句。



殺戮の始めは刃研ぎ捕鯨船

殺戮の始めは刃研ぎ捕鯨船 北切雀

季語：捕鯨船（冬）

<< 写真は夏で季語は冬。アイスランドにて。>>

- * 初めて見る光景。昔ながらの捕鯨漁の一端を見ました。



レガッタを頭に担ぎムカデ足

レガッタを頭に担ぎムカデ足 陽閑

季語：ムカデ（夏）

<< すごく長いレガッタは多分重いのでしょうか。頭を入れて運ぶ陸の動きが愉快。>>

- * 滑稽な情景が浮かびます。
- * 想像すると確かに愉快。
- * おもしろい写真に句もなんだか楽しくていいです。
- * ムカデというのは面白い例え。コミカルですねえ。
- * 本当に愉快的な光景ですね。ムカデ足が季語で やったア-ですね。



人は居ぬ船は静かに休む初夏

人は居ぬ船は静かに休む初夏 梵木

季語：初夏（夏）

- * 静かな静かな船着き場。
- * 猛暑の中、魚も漁船も一休みですか。



初がつお船倉肥えし帰港かな

初がつお船倉肥えし帰港かな 池福楼

季語：初鯉（夏）

<< 沖縄のカツオ漁は大漁旗をはためかせ、漁に出るそうです。>>
(借り画像)

- * 大漁旗の鯉船を一度見てみたいですね。
- * 勇壮かつ華やか。大漁よりも無事を祈りたい。
- * 何とも威勢のよい風景です。

春霞 余生静かに連絡船 昼寝覚

季語：春霞（春）



<< かつて荒波の海峡を何度も行き来した青函連絡船、今では観光ルートの一つとして青森港に係留されていました。>>

- * ご苦労様！相見互いと言った気分になります。
- * 時代は容赦なく過ぎ去っていきます。

何もかも積み込み待機遊山船 iSAMU

季語：遊山船（夏）



<< ストックホルムからヘルシンキにバルト海を渡る船です。全長200m、986室の大型船です。約400 kmを一晩かけて航行します。（東京～潮岬にほぼ相当）船で思いつくのが現在太平洋をヨットで航海中の辛坊治郎さんの事です。5月末の時点でハワイの北を過ぎましたがその様子がネットで見られます。>>
[辛坊治郎さんの太平洋横断チャレンジを応援しよう！ | FURUNO](#)

- * のんびり旅の象徴のようなクルーズは環境には悪役とか。
- * 辛坊さんは太平洋を制覇しました。我も大きな夢を持ち続けたい。
- * 48年前にヘルシンキからストックホルムに渡った時の船かどうか覚えておりませんが、懐かしさでいっぱいです。遊山船ではなかったなあ？

あおきかな海猫の先権の先 一枝

季語：海猫（夏）



<< カヤックの漕ぎ手の視線で詠みました。>>

- * のっけの「あおきかな」で漕ぎ手にも海鳥にも魚にもなれる。自由が溢れる気持ちいい写俳です。
- * 海の青、空の青を満喫している気分の良い句ですね。

- * 画像も句も洋々として雄大。句のリズム感もいいです。紺碧の海原が果てしなく続がっている。

船催い調整まじか初夏の風 千泉

季語：初夏（夏）



<< 船出の準備を船催い（ふなもよい）という言葉があるようなのですが、ヨットでもこんな使い方ができるのでしょうか。>>

- * 「船催い」洒落た言葉ですね。写真もGood。
- * すっきりとしたはらいの字体が、マストの上を行く風を見せてます。
- * 海を愛する人はこんな時が楽しみで堪らないのでしょうか。

俳句



横浜ベイブリッジを背景に奔る帆を降ろした帆船 撮影：準坊

一席 投票数：26

青嵐わっさわっさと舳舟 (もやいぶね) 北切雀 (9 票)

季語：青嵐 (夏)

<< 数隻の船はちゃんと繋がれてはいるものの、揺れに大慌てのように見えました。 >>

- * 繋がれている船達が波に上下に揺れているのが見えます。
- * もやい船のわっさわっさの音が聞こえます。
- * 早く大海原へ出ていきたいと舟たちが歌っているようですね。
- * 「わっさわっさ」のオノマトベが利いています。
- * 擬音語が生きて揺れが伝わります。二票投票します。
- * わっさわっさがいいですね。
- * 船の押しくらまんじゅうのようです。

佳作 (令和3年6月号掲載順)

水ぬるむ池のボートをときはなす 梵木

季語：水温む (春)

- * やってきた夏の開放感がたまらない。

初夏の川色とりどりのカヌーかな 千泉

季語：初夏 (夏)

<< 川で賑やかにカヌーのレッスンをしてました。運転中だったので写真が撮れなかったのが残念。 >>

- * カヌーの川下りは経験が無いのでしてみたい。
- * 遠くからは水すましのようですね。
- * 色彩豊かな水辺の様子が目に浮かびます。

窓のそと船が絵となりゆく夏や 陽閑

季語：ゆく夏 (夏)

- * 窓枠が額ですね。
- * 外を眺める作者を含め一幅の絵のよう。

テムズ川軍艦、帆船並ぶ街 マム

無季

- * 一度行ってみたいなー。
- * 海軍は中世からイギリスの誇り。印象深い光景が目につかびます。

鱧舟や釣果期待の陣を取り 準坊

季語：鱧舟（夏）

<< 初めてキス釣りに出かけた時は思わぬ釣果がありました。>>

* このワクワク感は釣り好きには最高でしょうね。

笹舟やうちわの風でみぎひだり 久芽

季語：笹舟、団扇（夏）

<< 笹で包んだふ饅頭がありました。ホッチキスで止めて舟を作って浮かべてみました。>>

* 懐かしい笹舟。

* 笹の葉と流れがあったら絶対やってみたい遊び。うちわの言葉が夏の涼風を感じさせてくれる爽やかな一句だと思いました。

* 笹舟で遊んでいる状況がよくわかります。

* 遊び心を実践する気持ちの若さ?が素敵です。

* 昔ながらの夏の風情を感じますね。

船溜 ゆるりと寄する春の波 昼寝覚

季語：春の波（春）

* のどかですね。磯の香が漂ってきそう。

舷窓に流るる旅情青岬 池福楼

季語：青岬（夏）

<< 船室の丸窓から眺める陸の遠望は旅心をそそります。>>

* 船旅は陸地が見えてくると現在位置が気になりますね。

* 「青岬」を調べました。「舷窓」という文字も風情豊か。

* 晴海から宮崎までのフェリーの旅を思い出しました。

海峡フェリー白靴脱いで一寝入り 一枝

季語：白靴（夏）

* 今更の外の景色より体力保持、と旅慣れた方ですね。白靴がさわやか。

* 何故か昭和を思わせる句に感じました。

* スニーカですか「白靴」がいいですね。青い海原に白のコントラストが清涼感いっぱい。

この写真で一句**4月～6月兼題写真 「隅田川」 出題：準坊****千泉 隅田川春のビル群江戸遠し**

季語：春（春）

<< いま江戸の時代小説にはまっています。>>

* 私も江戸時代小説、それも庶民の人情話が特に好きです。

久芽 桜橋そぞろ歩いて鬼灯市

<< 浅草の鬼灯市もコロナ禍のため二年連続で中止に。写真一番手前の橋は桜橋ですね。>>

* 浴衣でそぞろ歩きを楽しむ。日本の夏もいいものです。

- * 葉月8月の兼題は久芽さんから「帽子」、長月9月は昼寝覚さんから「野分または嵐」、神無月10月は梵木さんから「島」と出ています。
 - * 令和3年文月7月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
 - * また特にいいと思われた写俳、俳句各1作品に持ち票2票ずつを投票されても結構です。
 - * 句とは別に写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
 - * 作者名が入った作品は投票対象外です。
 - * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。写真、短歌、川柳、自由俳句も大歓迎です。
 - * 7月号への投票、8月号作品への投句、投稿の締め切りはともに8月20日です。
 - * 読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。
- * 今年から「この写真で一句」という3ヵ月毎の部門を始めました。兼題は言葉ではなく写真です。
1. 兼題写真から自由に発想して「俳句」を詠んで下さい。
 2. 川柳、短歌と同様に投稿は自由です。
 3. 作品は記名で投票の対象外となります。
 4. 7月～9月の兼題写真は久芽さんの「道標」で、締め切りは9月20日です。
 5. 10月～12月の兼題写真を募集しています。



道標

撮影：久芽

写楽句会 連絡先： kinuko_thompson@hotmail.com
 写楽句会： <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
 四季の森空間： <https://isamusouma.web.fc2.com/>